

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。構成

組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。

組立・施工の後に…

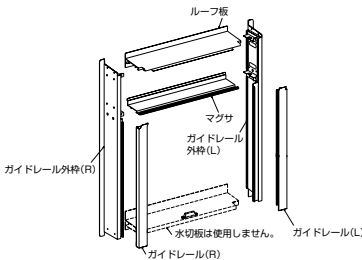
取扱説明書（ユーザーマニュアル）を施主様にお渡しください。

注意

- 商品の上に乗ったり、はしごを掛けしないでください。商品の変形だけでなく落下事故の原因になります。
- 商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

お願い

- 木造用のため、ALC鉄骨造・RC造には取付けられません。
 - 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれないことを確認してください。取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因となります。
 - シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。サッシからの漏水は家屋を傷め、施主様から賠償を求められることがあります。
 - 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。締め付け不良は漏水や事故の原因になります。
 - シャッター本体を取付ける前に、枠の水平・垂直が出ているか確認してください。枠の水平・垂直が正しくないと、シャッターの開閉に支障をきたします。
 - ガイドレールおよびシャッターケースの点検口は、メンテナンス時取りはみしができるようにしてください。特に、入隅ではご注意ください。
 - 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
 - モルタル等の抽出液が工事中にシャッターの表面に流れないようにしてください。外観不良（しみ、むら）や腐食の原因となります。
- また、シャッター表面にキズをつけますと、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。



同梱部品一覧

表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。また、表中の○印の番号は本文中の組立・取付図の番号と連動しています。

番号	①	②	③
姿 図			
品 名	錠受	ラベル	小トラスタッピンねじ (φ4×6)
品 番	3K-1853B	K-4914Z	EM-4006
個 数	2	1	4
備 考		錠受取付穴加工用	錠受取付用

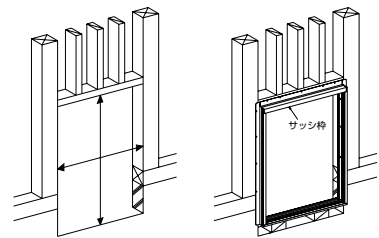
お願い

サッシの組立・取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
サッシ：2.0～2.5N・m (20～25kgf・cm) 程度

サッシ枠の取付

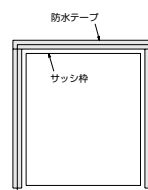
開口部の水平・垂直・面違いを確認し、必要に応じて添材を打ちつける等調整を行ってください。

サッシ枠を別途組立・施工説明書に従って取付けてください。

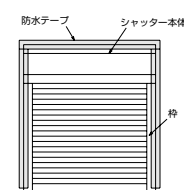


【防水テープ貼付け位置】

＜サッシ枠＞



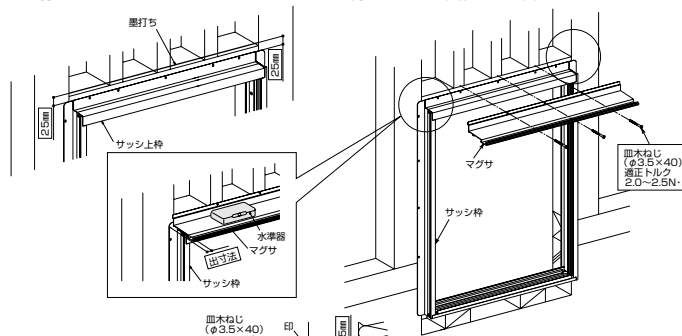
＜シャッター枠＞



1. シャッター枠の組立・取付

1. マグサの取付

- ① サッシ上枠の上端から25mmの箇所に墨打ちしてください。
- ② マグサの上端を①で付けた印に合わせ、左右の寸法を同じにしてから躯体にねじて固定してください。

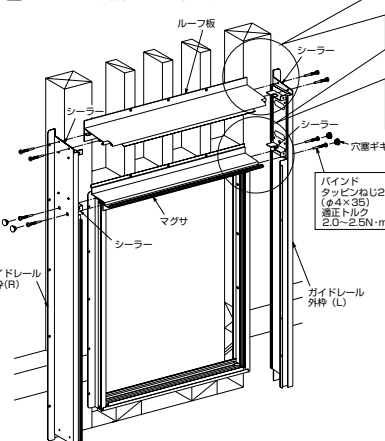


ポイント

マグサの水平は必ず水準器で確認してください。

2. シャッター枠の組立

- ① マグサとガイドレール外枠を組立ててください。
- ② ガイドレール外枠とルーフ板を組立ててください。



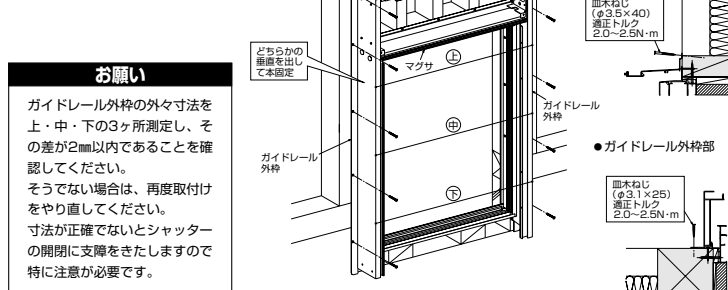
- ルーフ板・ガイドレール外枠部
- マグサ・ガイドレール外枠部

ポイント

- シーラーの位置ずれ、折れ曲がりのないことをご確認ください。
- ガイドレール外枠とマグサ、ルーフ板組立時、シーラーのはみだし量が材形状にそって、均一であることをご確認ください。
- ガイドレール外枠が長い場合は下部を切断してください。（ただし、ガイドレール外枠は土間に必ず埋め込まれるようにしてください。）

3. ガイドレール外枠・ルーフ板の取付

- ① どちらか一方のガイドレール外枠を下げ振り等を用いて垂直を出して固定してください。
- ② ガイドレール外枠の外寸法を確認しながらもう一方のガイドレール外枠を躯体に固定してください。
- ③ ルーフ板を躯体に固定してください。

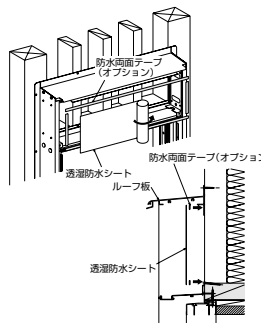


お願い

ガイドレール外枠の外寸法を上・中・下の3ヶ所測定し、その差が2mm以内であることを確認してください。そうでない場合は、再度取付けをやり直してください。寸法が正確でないとしシャッターの開閉に支障をきたしますので特に注意が必要です。

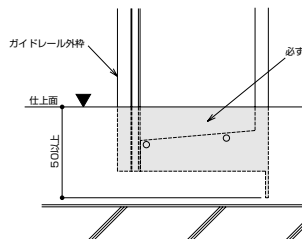
ポイント

シャッター本体取付部躯体側に防水処理が施されていない場合、枠に同梱品の透湿防水シートを貼ってください。余ったシートは切り取ってください。



2. 土間仕上げ

- ① 土間を仕上げてください。

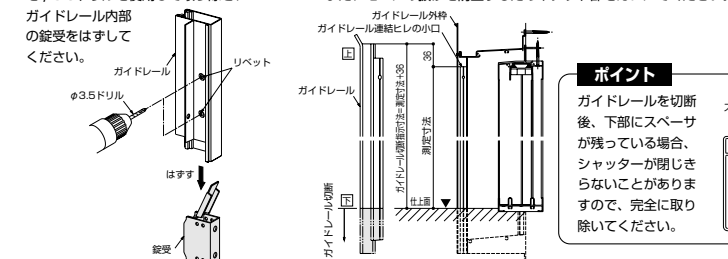


お願い

ガイドレール外枠は強度保持のため50mm以上は必ず埋め込んでください。

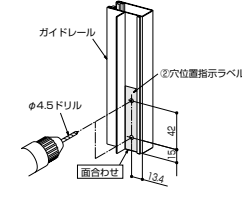
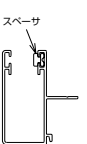
3. ガイドレールの加工および部品交換

- ① ガイドレール下部のリベット(2ヶ所)をφ3.5ドリルを使用して取り除き、ガイドレール内部の錠受をはずしてください。
- ② 寸法を測定し、ガイドレール下部を図の寸法で切断してください。また、モヘアの抜けを防止するためポケット部をカシメてください。
- ③ ガイドレール下端に穴位置指示ラベルを貼り、φ4.5ドリルで穴(2ヶ所)をあけてください。
- ④ 同梱品の錠受をねじて取付けてください。



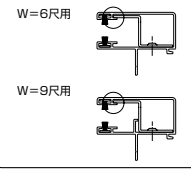
ポイント

ガイドレールを切断後、下部にスペーサが残っている場合、シャッターが開じきらないことがありますので、完全に取除いてください。



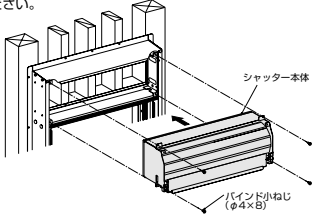
ポイント

○印の部分に錠受が納まっていることを確認してください。



4. シャッター本体の取付

- 1 シャッター本体を枠に挿入して、ねじでしっかりと固定してください。

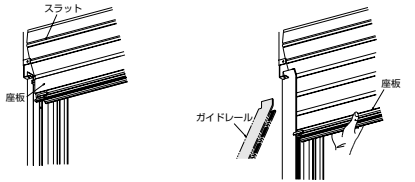


お願い
シャッター両端の結束バンドは、座板交換時まで切らないでください。

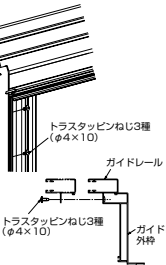
ポイント
シャッター本体固定ねじが最後まで締まっていることを確認してください。シャッター本体の落下やシャッターの開閉に支障をきたすおそれがあります。

6. ガイドレールの取付

- 1 シャッターを図のような位置まで巻き取ってください。
- 2 座板を少し引き出してガイドレールの上部に引き込んでください。

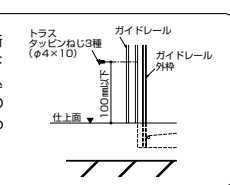


- 3 ガイドレールをガイドレール外枠に確実にはめ込んで一番上のねじよりねじ止めしてください。



ポイント
ガイドレールはW=6尺用とW=9尺用では形状が異なりますのでご注意ください。W=9尺用の場合、耐風フックがガイドレールの中に正しく納まっているか確認してください。

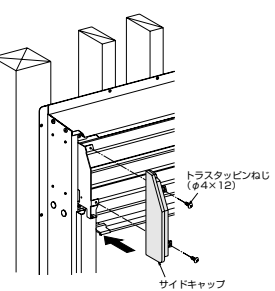
ポイント
ガイドレールはW=6尺用とW=9尺用では形状が異なりますのでご注意ください。W=9尺用の場合、耐風フックがガイドレールの中に正しく納まっているか確認してください。



- 4 スラットの横ズレがないことを確認のうえ、開閉チェックを行ってください。

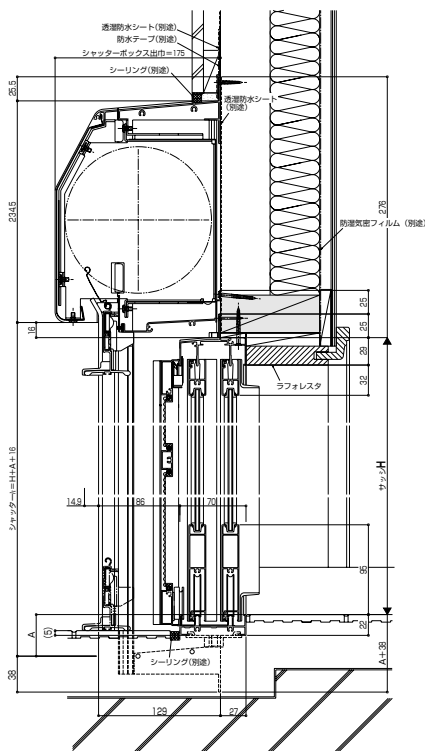
7. サイドキャップの取付

- 1 サイドキャップをシャッター本体両側に取付けてください。



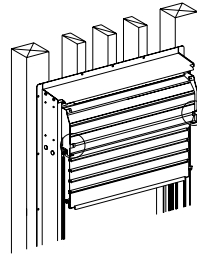
ポイント
サイドキャップのシーラーがはみ出さないように図のように取付けてください。

納まり参考図 縮尺 1/2 単位: mm



5. 座板の交換

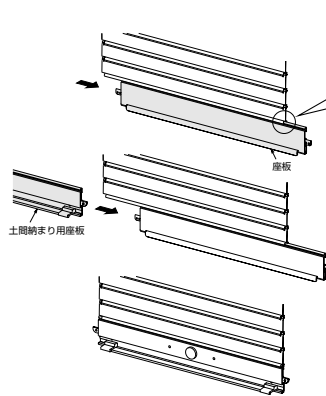
- 1 シャッター両端の結束バンドを切ってください。
- 2 座板を図のように開口の中間位置まで下げてください。
- 3 座板裏側に取付けてある緩衝材およびスラットに巻いてある養生紙を取り除いてください。



ポイント
ある程度までシャッターを引き下げないと座板交換時にシャッターが巻き上がり、シャッターボックスに巻き込むおそれがあります。ご注意ください。

お願い
スラットとケーシングが干渉しないようご注意ください。

- 4 シャッター本体についている座板を1/3程度すらしてださい。
- 5 土間納まり用座板を差し込んでください。
- 6 シャッター本体の座板を抜き取り、土間納まり用座板をスライドさせて取付けてください。

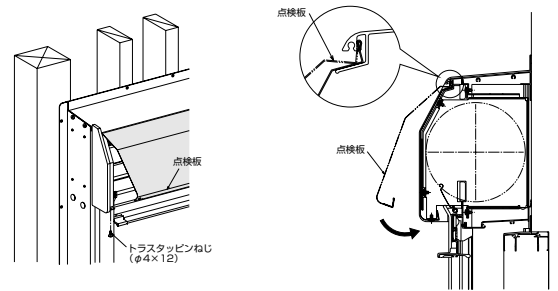


ポイント
W=9尺以外は座板とスラットをカシメています。座板を抜き取る際は、ラジオペンチ等でカシメを開き、土間納まり用座板取付後は再度カシメてください。

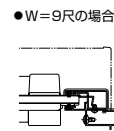
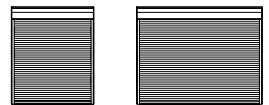
お願い
土間納まり用座板を差し込む前にシャッター本体の座板を抜き取らないでください。シャッターがシャッターボックスに巻き込まれるおそれがあります。

8. 点検板の取付

- 1 点検板を図のようにはめ込み、ねじで固定してください。



外觀姿図



●W=6尺の場合

